

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	仲村剛・福土暁也・岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復理論の上肢脱臼、上肢・下肢の軟部組織損傷、下肢の頸部骨折における概説から整復法、後療法、予後について内容の理解を深める講義を行っていきます。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。						
《履修に当たっての留意点》						
1,2年次に履修した柔道整復理論の復習となります。配布している資料なども持参し、理解を深めてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼①		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各自で前学年次の総合的な振り返りを行うことが必要である。	
	各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法				
第2回	授業を通じての到達目標	肩鎖関節脱臼②		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	振り返りから、目標を選定する為に現状把握が必要である。	
	各コマにおける授業予定	後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた				
第3回	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(前方脱臼)①		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	前学年時に履修した各科目の内容確認が必要となる。	
	各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法				
第4回	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(前方脱臼)②		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	学年時における履修内容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。	
	各コマにおける授業予定	後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた				
第5回	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(後方脱臼)①		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。	
	各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節脱臼(後方脱臼)②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘内障①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘内障②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	後療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	第(3)中手指関節脱臼①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	第(3)中手指関節脱臼②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロッキングフィンガー①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロッキングフィンガー②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	指節間関節脱臼(背側脱臼)①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、変形、整復法、固定法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	指節間関節脱臼(背側脱臼)②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	指節間関節脱臼(掌側)脱臼	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、整復法、固定法、後療法、臨床上重要なレントゲン撮影の診かた		

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	仲村剛・福土暁也・岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復理論の上肢脱臼、上肢・下肢の軟部組織損傷、下肢の頸部骨折における概説から整復法、後療法、予後について内容の理解を深める講義を行っていきます。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩腱板損傷①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	概説、症状、鑑別診断、固定法			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩腱板損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	検査法、後療法、予後			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩腱板損傷③	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	運動療法、観血療法			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋長頭腱損傷①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	概説、症状、鑑別診断、固定法、検査法			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋長頭腱損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	後療法、予後、運動療法、観血療法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	内側側副靭帯損傷I(肘関節①)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、症状、鑑別診断、固定法、検査法		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	内側側副靭帯損傷I(肘関節②)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	後療法、予後、運動療法、観血療法		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	槌指(マレットフィンガー①)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、症状、鑑別診断、固定法、検査法		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	槌指(マレットフィンガー②)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	後療法、予後、運動療法、観血療法		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	概説、分類		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部内側骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、転位と変形、整復法		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部内側骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	固定法、後療法、临床上重要なレントゲン撮影の診かた		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部外側骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、転位と変形、整復法		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部外側骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	固定法、後療法、临床上重要なレントゲン撮影の診かた		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	総復習		